

BCP 訓練は机上から



机上訓練→実技訓練の流れをつくる

いよいよ BCP 元年が始まる。在宅ケアマネ、訪問系事業所はまだ1年猶予があるが、それ以外の施設事業所は障害も含め今年4月からBCPの研修・訓練を実施しなければならない。研修は外岡の動画視聴でも足りるが、問題は訓練である。誰もが初体験となるBCP訓練は、何をどうすれば良いのか。今月実施した勉強会でお話した内容をベースに解説する。結論としては、「東京都の動画を見る」が有効となる。



2月1日、沖縄開催の老健協会九州ブロック大会に参加する外岡潤。



豆知識：特養、老健、介護療養型医療施設は研修を年2回+「新規採用毎に別途」しなければならないので要注意！



東京都公式ユーチューブ BCP 訓練動画③「机上訓練について」



☆：外岡潤

○：老健の施設長

○：とうとう始まりますね、BCP…年明け早々能登半島の地震もあり、世間でも防災意識が高まっているので職員達もモチベーションは高いのですが、いかんせん初めてなので何をどこまでやればいいのか、分かりません。

☆：大丈夫です、日本中の殆どの施設がそうですから。今回勉強会をやるにあたり、色々と情報を集めたのですがいい参考資料がありました。

○：それが、この東京都の動画なのですね。

☆：はい。その前に条文を確認しておきましょう。老健では運営基準解釈通知上、「訓練(シミュレーション)においては、感染症や災害が発生した場合において迅速に行動できるよう、業務継続計画に基づき、施設内の役割分担の確認、感染症や災害が発生した場合に実践するケアの演習等を定期的(年2回以上)に実施するものとする。」「訓練の実施は、机上を含めその実施手法は問わないものの、机上及び実地で実施するものを適切に組み合わせながら実施することが適切である。」とあります。

○：役割分担の確認、ケアの演習ですか…下段の机上及び実地というスタイルにそれぞれ対応しているようですが。

☆：はい。机上のシミュレートで役割を確認し、実際に体を動かす演習を実地訓練として行うという事になります。この両方を組み合わせることが理想的です。

○：分かりました。訓練は年2回ですが、感染BCPは「感染症の予防およびまん延防止の訓練」と、災害BCPはこれまで実施してきた避難訓練と、合同で行っていい訳ですよ。さて、来年度の計画はどう組むかな…

☆：訓練というと避難訓練が連想され、対策本部の設置や全職員の参集訓練などをいきなり大々的にやっちゃってしまいがちですが、初年度は皆慣れていないのですごく簡単なもので良いと思います。

○：そうですか、それを聞いて少し安心しました。災害対策について情報を集めれば集めるほど、本当にこれだけのタスクをこなせるのかと不安が募っていたものから。

外岡新聞

3月号

弁護士法人おかげさま

〒160-0023

東京都新宿区西新宿

8-9-14 ベイペリー

202号

http://okagesama.jp

TEL:03-6555-3437

FAX:03-6730-6140



2月20日、自主セミナー「BCP研修・訓練対策セミナー」を無事開催できました。自主セミナーは順次アーカイブに動画としてアップしていきますが、顧問先様には全て無料で提供しています。

外岡新聞

3月号

弁護士法人おかげさま
〒160-0023
東京都新宿区西新宿
8-9-14 ベイベリー
202号
http://okagesama.jp
TEL:03-6555-3437
FAX:03-6730-6140



2月20日、自主セミナー「BCP研修・訓練対策セミナー」を無事開催できました。自主セミナーは順次アーカイブに動画としてアップしております。顧問先様には全て無料で提供しております。ご活用ください！

☆:「頑張らない」がキーワードです。1枚目の机上訓練の写真をみてください。こんな風に、異なる役割の人が4人組になり、司会役の人がBCPを読み合わせながら都度、各員がやるべきことを尋ねチェックしていくというものでした。研修の延長のディスカッションみたいですが、これでも立派に訓練として認められます。

○: 都が出しているものですからね。なーんだ、訓練といっても大したことないですね。

☆: そうです、そのように肩の力を抜いて身構えず取り組むことが大切です。いきなり本格的なことを求めても、現場職員はそもそもBCPを頭に入れていませんから、ついていけないでしょう。

○: 了解しました、後でじっくり動画を見てみます。じゃあ初年度は、災害感染ともにこの机上訓練を通していいかな…実地訓練は次年度に回そうと思いますが、何かお薦めはありますか。

☆: 優先度が高く、実践的で、かつ取組のハードルが低いものもいいですね。被災後2日目で、水や食料が途絶えた状況を想定し非常食の食事介助演習を試みるのはどうでしょうか。ご利用者にいきなり乾パンをご提供するのにはリスクですが、実際に食べずとも配膳の模擬訓練だけでもさまざまな気づきが得られることと思います。

○: そうですね、エレベーターも停止していると、物資が重くて上のフロアに運ぶのも一苦労、といった課題が出てきそうです。

☆: そうやって発覚した課題について、「各フロアにレトルト食品を分散して備蓄する」といった解決策を講じ、BCPに盛り込み実践します。これだけで、訓練とBCPの更新の両方を終えたことになります。

○: そうか、たった1個の改善でもいいんですね。そう考えると幾らでもネタはありそうだから、ますます気が楽になってきました。

☆: その調子です。従来の避難訓練との区分けについて補足しますと、これまで行ってきた避難誘導、初期消火、救出救護訓練等が避難訓練に位置付けられます。それ以外の安否確認や参集などは全てBCP訓練に相当しますので、記録をつけるとき意識して分けて記載するようにしましょう。BCPをちゃんとやっているというアピールが重要です。

リスクマネジメントレポートのプレゼント企画！



来月、ご利用者の転倒事故後の対応について注意点をコンパクトにまとめたミニ冊子「事故後のご家族対応三カ条」をリリース予定です。今回の特長は、導入ページのマンガなのですが、何と「ヘルプマン！」の作者であるくさか里樹先生に描き下して頂きました！デイサービスでの事故にまつわる話なのですが、またご案内致しますので是非お楽しみに。
自分の似顔絵も沢山描いて頂き、冊子にもイラストがちりばめられています。思い切ってくさか先生に作成をお願いしたところ快諾頂き、数日であつという間に仕上げて頂きました。本紙でも少しずつご紹介していきます。

外岡流 趣味の部屋

船長の仕事？



今回、仕事で初めて沖繩に行ってきました！お昼の1時間のセミナーに出席するだけなので、勿体ないと思いつつも滞在し小型船舶2級と特殊小型船舶(水上オートバイ)の免許取得にチャレンジしました。写真は実技試験の日に、マリナーにて。気温は20度前後で半袖で十分、東京とは別世界です。



学料で習ったことで、印象的だったのが「船長の仕事は何か？」というものです。それは、船の操縦ではありませぬ。実は船長の大事な仕事は、「見張り」というのです。海上には道路もガードレールもありません。遠くから船が来ないか、障害物は無いかを常に監視し、いち早く危険を察知し進路を調整することこそ船長の役割ということですね。また故障などの非常事態に対処することも重要です。介護施設でいえば、施設長がこれに相当します。リスクマネジメントやトラブル対処こそが、施設長に求められる役割なのかもしれないと思つたのでした。

編集後記

朝晩の冷気が緩んだかと思うと春一番が吹き荒れ埃も巻き上げ花粉症には辛い時期が到来してしまいました▼一年を通じて中々穏やかに過ごせる季節が無くなっているように感じますが、久々に沖繩に行き、日本の広さ、バラエティの豊かさを体感できました▼小型船舶の試験、気になる結果は：何とか合格できました▼役立つ機会はそう巡ってこないと思いますが、いい経験になりました。